

浪板海岸駅

浪板海岸を望む高台にあったが、津波により大きな被害を受けた。JR東日本により復旧し、新しい駅舎は浪板海岸に打ち寄せる波頭をモチーフとした屋根の形状と、海の眺望に配慮したデザイン。駅前には東屋、ロータリースペースも整備された。



釜石方面を望む。ホーム、駅舎、駅前と一新された。サーフィンスポットとしても人気の浪板海岸まで徒歩7〜8分



駅前にはロータリーも開設



浪板海岸駅の新駅舎



浪板海岸駅付近を走行中の車内から見た船越湾の眺め

吉里吉里駅



修繕が施され雰囲気が一新した「吉里吉里駅」。浪板海岸駅方面を望む

高台に位置し、津波の被害はなかったが、JR東日本により、修繕が施されている。ホームの雰囲気も一新。



暖かめの浜で知られる「吉里吉里海岸」へは徒歩10分程度。海水浴場も再整備されている



釜石方面を望む。駅舎周辺は緑の名スポット



「吉里吉里駅」付近からの車窓。右手奥の砂浜が「吉里吉里海岸」



山田線ダイジェスト

vol. 5
大槌町

3月23日(土)に山田線がJR東日本から三陸鉄道に移管。三陸鉄道リアス線として営業運転がスタート。震災から8年余。ようやく三陸沿岸の鉄道が一本の線で結ばれる。既に新造列車を運用しての訓練運転が始まり、沿線の駅舎、駅前周辺の整備も急ピッチで進んでいる。今回は大槌町内にある大槌駅、浪板海岸駅、吉里吉里駅の最新情報をご紹介します。

※本文は2月15日現在、写真は2月2日撮影



大槌駅

津波により町の中心部が壊滅的な被害を受けた大槌町。土地のかさ上げ後、かつての駅とほぼ同じ場所に駅舎・ホームが建築された。デザインは町のシンボル「ひょうたん島(蓬萊島)」がモチーフだ。

当初はJRによる駅舎再建の計画もあったが、「今後の町の活性化のために、駅を観光交流の起点にしたい」という町民の声を受けて、大槌町が駅舎建築を担当。駅デザインの決定に関しては「ひょうたん島」「海」「代官所」の3案の候補による「大槌駅デザイン総選挙」を実施。投票資格は「大槌駅をよい駅にしたいと願う方であれば誰でもOK」。帰省者も多い平成29年8月11日・12日に大槌町内のショッピングセンター「シーサイドタウンマスト」で行われた。投票総数1701票のうち、過半数以上となる919票を集めた「ひょうたん島」が第1位に。現在のデザインが採用された。

駅舎では切符の販売のほか観光案内、新巻鮭からスープを作った大槌自慢のラーメンが提供される飲食店も開設予定だ。



ひょうたん島をモチーフとしたデザイン。今にも動き出しそう



ホームの屋根の色はかつての大槌駅の屋根色と同じ



下り列車、入線時の正面風景



蓬萊島の写真も表記された駅名標



駅舎内には観光案内所も開設。左上(左手)には展望台もある



駅名看板も「ひょうたん島」がモチーフ

三陸防災復興プロジェクト2019 三陸鉄道編

「三陸防災復興プロジェクト2019」の開催に合わせて、沿線の魅力を発信、堪能できる三陸鉄道でも企画列車を運行する。

三陸鉄道一貫運行記念 三陸縦断夜行列車

JR山田線(釜石駅～宮古駅)の移管にともない、日本一長い第三セクター鉄道となった三陸鉄道(盛駅～久慈駅間163km)。その開通を記念して盛駅→久慈駅線を走破する夜行列車が運転される。盛駅での出発セレモニー、駅舎等のライトアップ、夜食の提供のほか、早朝には大漁旗でお出迎えも。途中、太平洋からの日の出を楽しめる演出も予定されている。



夜明けのリアス線を走る。夜行列車ならではの貴重な体験

運転日 7月20日(土)発/7月27日(土)発
運転区間 盛駅発(終発発車後)→久慈駅(翌朝)
定員 各60名

※募集については、後日、三陸鉄道のホームページ等で発表になります。

三陸プレミアムランチ列車

三陸の食材を使用した有名シェフ監修のコース料理を提供。風光明媚な三陸の景色を眺めながら食事を楽しむことができる。

- 南三陸コース 6月15日(土)
盛駅発→宮古駅着 定員40名
- 北三陸コース 7月14日(日)
久慈駅発→宮古駅着 定員40名



変化にとんだ車窓とともに贅沢なランチを楽しむ

三陸うほほ列車

北三陸の夏の食材、うに、ほや、ほたてを利用した地元の料理を提供。お徳で「うほほ」な海の幸満載の料理を楽しむことができる。

運転日 6月30日(日) 久慈駅発→宮古駅着 定員40名